資料集

１．佐倉市健やかまちづくり推進委員会条例

平成十七年三月二十四日
条例第十三号

改正　平成一九年　三月一六日条例第九号
　　平成二〇年　三月二一日条例第一五号
　　平成二一年　三月二四日条例第八号

（設置）
第一条　市民の健康づくり事業の円滑かつ効率的な推進を図るとともに、本市の健やかまちづくりを基本理念とする健康増進計画（健康増進法（平成十四年法律第百三号）第八条第二項に規定するものをいう。以下同じ。）に基づく施策及び事業の推進に当たり、効果的な運用を期するため、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第百三十八条の四第三項の規定により佐倉市健やかまちづくり推進委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（所掌事項）
第二条　委員会の所掌事項は、次に掲げるものとする。
一　健康増進計画の策定及び変更に関して意見を述べること。
二　健康増進計画に関する事業の進行管理及び評価に関すること。
三　その他市民の健康増進に関すること。

（組織）
第三条　委員会は、十五人以内の委員をもって組織し、委員は、次に掲げる者のうち
から市長が委嘱する。
一　医師　三人以内
二　歯科医師　一人
三　保健所の職員　一人
四　学識経験者　二人以内
五　健康づくりの活動を実践する市民団体の代表者　三人以内
六　市民　五人以内

（任期）
第四条　委員の任期は、二年とし、再任を妨げない。
２　委員が欠けた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
３　委員が委嘱されたときにおける当該身分を失った場合は、委員を辞したものとみなす。

（会長及び副会長）
第五条　委員会に会長及び副会長各一人を置き、委員の互選により定める。
２　会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
３　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）
第六条　委員会の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が会議の議長となる。
２　委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。
３　委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
４　委員会は、必要があると認めるときは、関係者に対し会議への出席を求め、又は資料の提出を求めることができる。

（専門委員会）
第七条　委員会は、所掌事項のうち特定の事項を審議させるため、専門委員会を置くことができる。
２　市長は、委員会の求めに応じ、臨時委員を委嘱することができる。
３　臨時委員は、当該特定の事項に関する審議が終了したときは、解任されるものとする。

（庶務）
第八条　委員会及び専門委員会の庶務は、健康増進主管課において処理する。

（委任）
第九条　この条例に定めるもののほか、委員会及び専門委員会の運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附　則
（施行期日）
１　この条例は、平成十七年四月一日から施行する。
（佐倉市母子保健連絡協議会条例の廃止）
２　佐倉市母子保健連絡協議会条例（平成九年佐倉市条例第十四号）は、廃止する。

附　則（平成一九年三月一六日条例第九号）
この条例は、平成十九年四月一日から施行する。

附　則（平成二〇年三月二一日条例第一五号）
この条例は、平成二十年四月一日から施行する。

附　則（平成二一年三月二四日条例第八号）
この条例は、平成二十一年四月一日から施行する。

2. 佐倉市健やかまちづくり推進委員会委員名簿

任期：平成２９年１１月１８日～平成３１年１１月１７日

役　職	選出区分	氏　名
会　長	医師	天本　安一
副会長	歯科医師	秤屋　尚生
	医師	越部　融
	医師	小林　照久
	保健所職員	篠﨑　久美
	学識経験者	山浦　晶
	学識経験者	西口　元
	市民団体代表	辻村　匡紀
	市民団体代表	渡辺　幸恵
	市民公募	小林　裕
	市民公募	鴇崎　金次
	市民公募	東野　正明
	市民公募	小川　美津子
	市民公募	宮内　珠代

3. 計画見直しの経過

平成２９年度

開催日／時期	内容
平成 29 年 10 月４日（水）	第１回健やかまちづくり推進委員会 ・「健康さくら 21（第２次）」の中間見直しについて
平成 29 年 12 月 20 日（水）	第２回健やかまちづくり推進委員会 ・委嘱状交付 ・市民健康意識調査の実施について
平成 30 年１月～２月	市民健康意識調査 ・「健康さくら 21（第２次）の中間評価及び見直しのための市民健康意識調査を実施

平成３０年度

開催日／時期	内容
平成 30 年８月１日（水）	第１回健やかまちづくり推進委員会 ・市民健康意識調査の調査結果について ・健康増進計画『健康さくら２１（第２次）』の進捗状況及び中間評価について ・健康増進計画『健康さくら２１（第２次）』の見直しについて
平成 30 年 12 月 12 日（水）	第２回健やかまちづくり推進委員会 ・中間評価報告書について ・見直し後の計画（案）について
平成 31 年１月 16 日（水）	政策調整会議に付議、承認
平成 31 年２月 22 日（金） ～　3月8日（金）	パブリックコメントの実施
平成３１年３月末	佐倉市健康増進計画 「健康さくら 21（第２次）」【改訂版】策定

4. 佐倉市の状況

（1）人口の状況

① 人口と世帯数

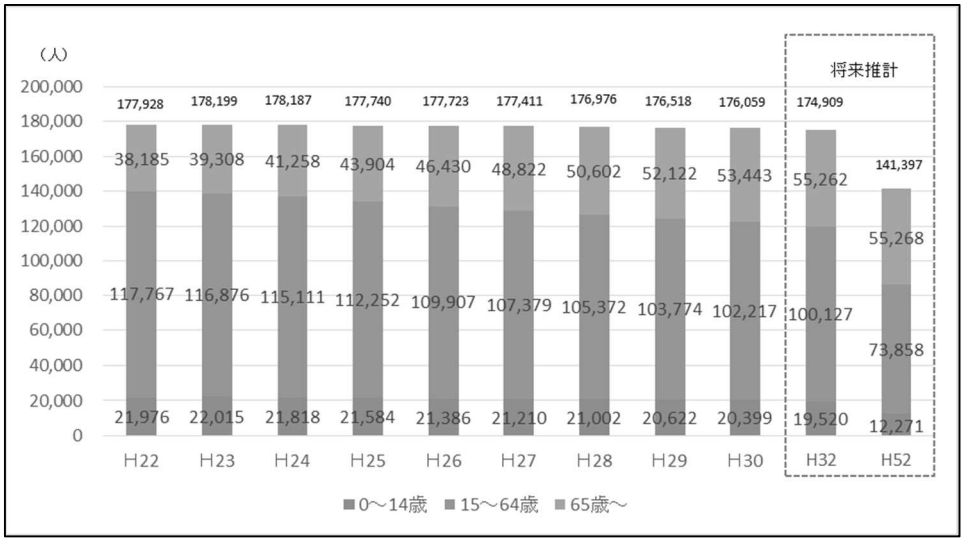
ア　人口の推移と将来推計

・総人口は、平成 23 年以降、微減傾向で推移しています。

・佐倉市人口ビジョン（平成 27 年 10 月）によると、総人口は平成 32 年に 174,909 人、平成 52 年に 141,397 人まで減少する推計となっています。

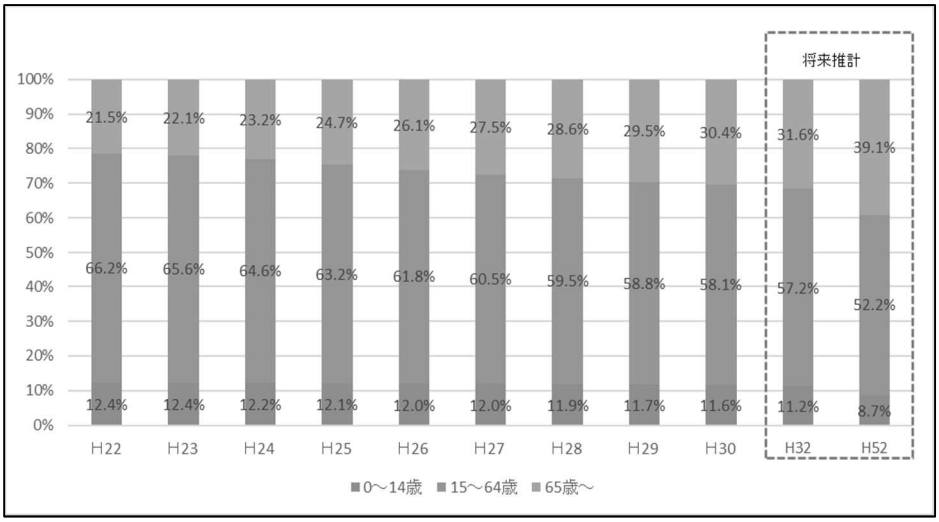
・年少人口（0～14 歳）と生産年齢人口（15～64 歳）は減少し、老年人口（65 歳以上）は増加しています。

図表 1　人口の推移と将来推計



出典：佐倉市人口ビジョン（平成 27 年 10 月）

図表 2　年齢三区分別人口構成比の推移と将来推計

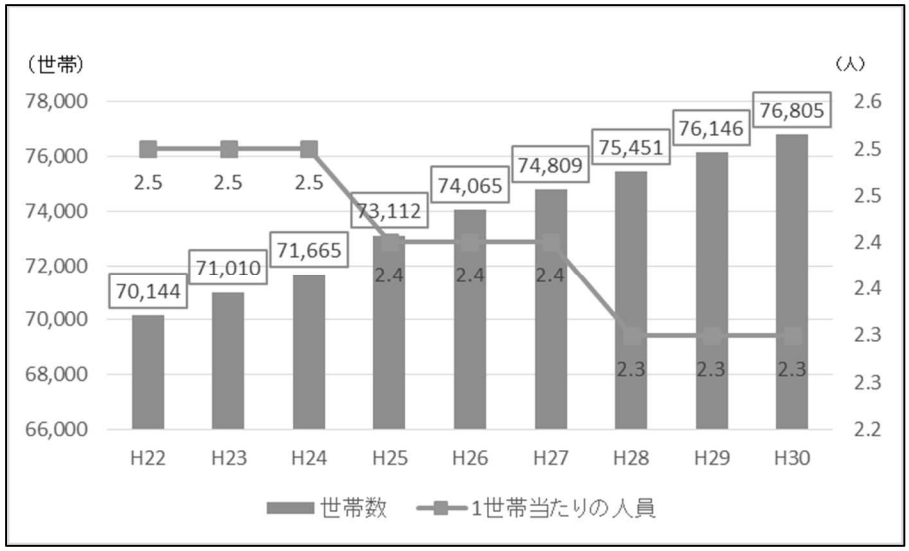


出典：佐倉市人口ビジョン（平成 27 年 10 月）

イ　世帯数の推移

・世帯数は年々増加していますが、１世帯当たりの人員は減少しています。

図表３　世帯数の推移



出典：佐倉市統計書

② 出生と死亡の状況

ア　妊娠届出状況

・平成 26 年度以降、妊娠届出数は減少しています。

・妊娠 11 週までの間に妊娠届出をする割合が 90％を超えています。

図表４　妊娠届出状況

年度	妊娠届出数（件）	0～11週		12週以上		産後・週数不詳	
		人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）	人数（人）	割合（%）
H22	1,205	1,054	87.5%	145	12.0%	6	0.5%
H23	1,256	1,100	87.6%	154	12.3%	2	0.2%
H24	1,186	1,036	87.4%	148	12.5%	2	0.2%
H25	1,172	1,066	91.0%	104	8.9%	2	0.2%
H26	1,217	1,094	89.9%	113	9.3%	10	0.8%
H27	1,082	970	89.6%	105	9.7%	7	0.6%
H28	1,054	958	90.9%	96	9.1%	0	0.0%
H29	1,035	946	91.4%	89	8.6%	0	0.0%

出典：健康増進課

イ　出生数、死亡数

・出生数は減少傾向にあり、死亡数は増加傾向にあります。
・出生率、死亡率ともに千葉県、全国と比較すると低くなっています。

図表 5　出生数、出生率、死亡、死亡率等

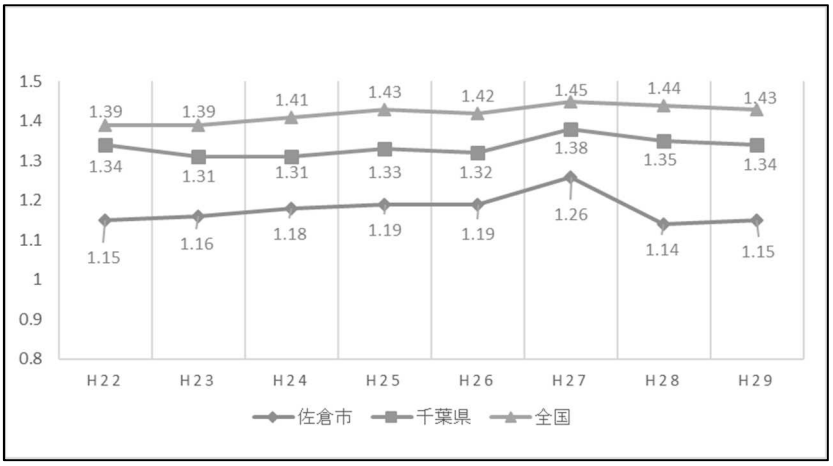
	年次	出生		死亡		乳児死亡（1歳未満再掲）		新生児死亡（生後4週未満再掲）		死産				周産期死亡率	
										自然死産		人工死産			
		実数	率（人口千対）	実数	率（人口千対）	実数	率（出生千対）	実数	率（出生千対）	実数	率（出産千対）	実数	率（出産千対）	実数	率（出産千対）
佐倉市	H22	1,175	6.9	1,370	8.0	3	2.6	1	0.9	8	6.1	14	11.7	3	2.5
	H23	1,198	6.8	1,437	8.2	6	5.0	2	1.7	26	21.1	11	8.9	7	5.8
	H24	1,179	6.7	1,443	8.2	2	1.7	1	0.8	14	11.5	20	16.5	4	3.4
	H25	1,158	6.6	1,534	8.7	1	0.9	1	0.9	17	14.3	16	13.4	4	3.4
	H26	1,133	6.5	1,541	8.8	5	4.4	5	4.4	11	9.5	10	8.7	8	7.0
	H27	1,146	6.7	1,666	9.7	1	0.9	1	0.9	17	14.4	14	11.9	3	2.6
	H28	1,007	5.8	1,607	9.2	5	5.0	3	3.0	11	10.7	12	11.7	5	5.0
	H29	989	5.7	1,642	9.5	2	2.0	1	1.0	11	11.0	3	3.0	6	6.0
千葉県	H29	44,054	7.2	59,009	9.6	89	2.0	40	0.9	536	11.9	461	10.2	168	3.8
全国	H29	946,065	7.6	1,340,397	10.8	1,761	1.9	832	0.9	9738	10.1	10,620	11.0	3,308	3.5

出典：人口動態統計（確定数）の概況、千葉県衛生統計年報

ウ　合計特殊出生率

・合計特殊出生率は、千葉県、全国と比較すると低くなっています。

図表 6　合計特殊出生率

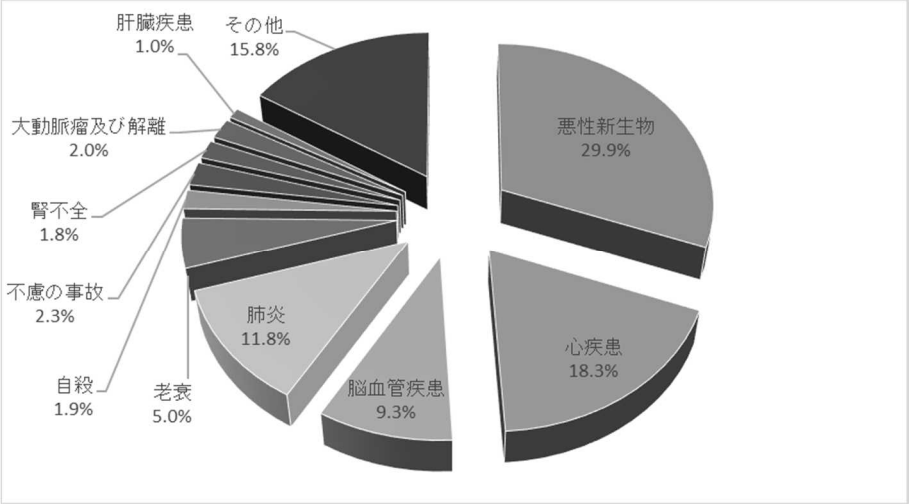


出典：千葉県衛生統計年報

エ　死因別死亡割合

・平成 28 年では、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順に高い状況です。

図表 7　死因別死亡割合（平成 28 年）



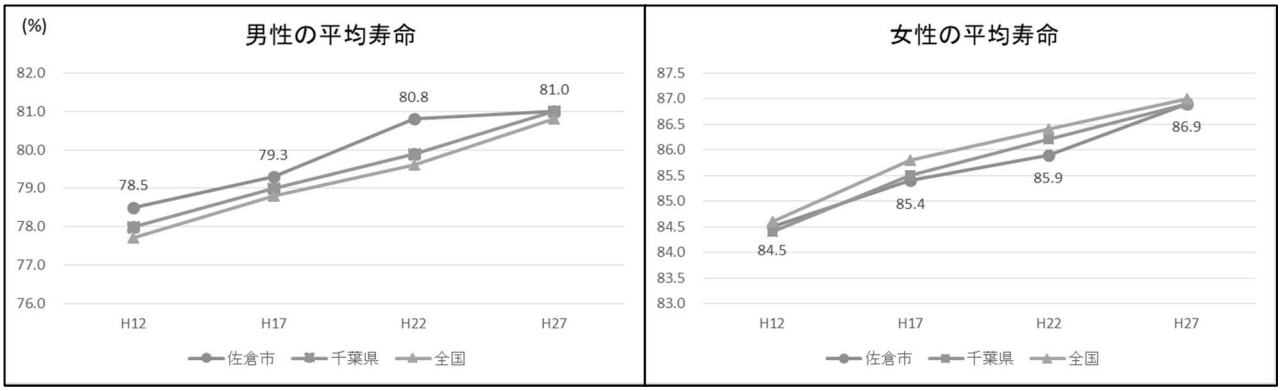
出典：千葉県衛生統計年報

③ 平均寿命と健康寿命（平均自立期間）

ア　平均寿命

・男性は、全国に比べ高く、女性は、全国に比べ低い傾向です。
・平均寿命の現状値（平成 27 年）は、男性 81.0 歳、女性 86.9 歳です。

図表 8　平均寿命の推移

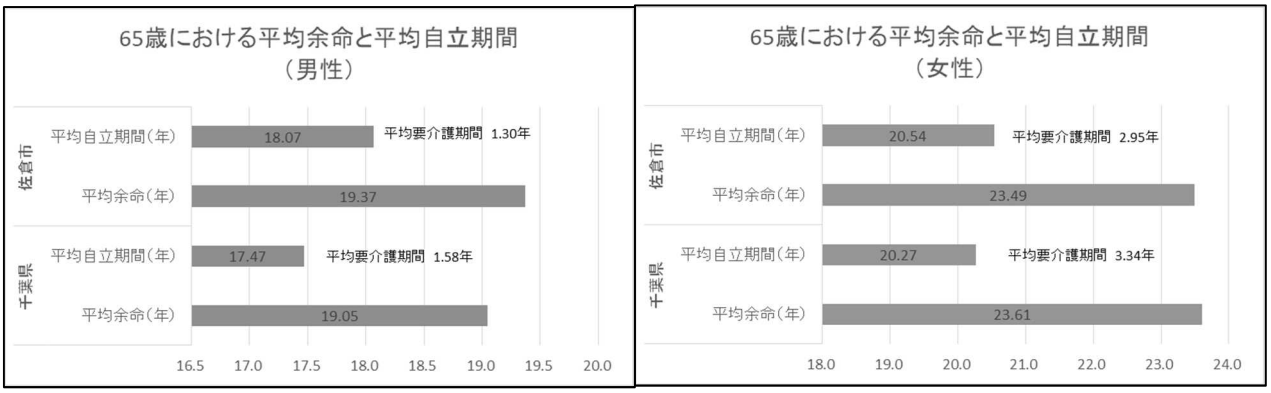


出典：厚生労働省「市区町村別生命表」

イ　平均余命と平均自立期間

・65 歳における平均余命は、男性 19.37 年、女性 23.49 年で、千葉県平均と比べると、男性はやや長くなっています。
・65 歳における平均自立期間は、男性 18.07 年、女性 20.54 年で、千葉県平均と比べると男女ともにやや長くなっています。

図表 9　65 歳における平均余命と平均自立期間（平成 26 年）



出典：千葉県「健康情報ナビ」

（２） 市民の健康を取り巻く状況

① 国民健康保険加入者の状況

ア 国民健康保険加入状況

・国、千葉県と比べると 65 歳から 74 歳までの高齢者の割合が高くなっています。

図表 10 国民健康保険加入状況（平成 28 年度）

項目		佐倉市		千葉県		全国	
		実数	割合	実数	割合	実数	割合
加入者数	計	45,360		1,598,246		32,587,866	
	0～39歳	9,982	22.0%	427,439	26.7%	9,179,541	28.2%
	40歳～64歳	13,371	29.5%	515,189	32.2%	10,946,712	33.6%
	65～74歳	22,007	48.5%	655,618	41.0%	12,461,613	38.2%
	加入率		26.6%		26.7%		26.9%

出典：佐倉市国民健康保険第二期データヘルス計画・佐倉市国民健康保険第三期特定健康診査等実施計画

イ 疾病別医療費の状況（入院・外来）

・入院では、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害に続いて、その他悪性新生物（主に前立腺がん、食道がん、膀こうがん)、その他の心疾患（主に不整脈)、虚血性心疾患の割合が高くなっています。

・外来では、糖尿病、腎不全、高血圧性疾患の割合が高くなっています。

図表 11 疾病別医療費の状況（平成 28 年度）

（入院）

順位	疾病項目(中分類)	医療費(円)	構成比
	医療費全体	13,928,052,720	100.00%
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	526,260,360	3.78%
2	その他悪性新生物	361,964,280	2.60%
3	その他の心疾患	320,473,460	2.30%
4	虚血性心疾患	235,288,760	1.69%
5	その他の消化器系の疾患	199,997,860	1.44%
6	腎不全	181,886,240	1.31%
7	骨折	178,312,660	1.28%
8	脳梗塞	169,714,160	1.22%
9	その他の精神及び行動の障害	137,988,170	0.99%
10	その他の呼吸器系の疾患	132,539,150	0.95%

（外来）

順位	疾病項目(中分類)	医療費(円)	構成比
	医療費全体	13,928,052,720	100.00%
1	糖尿病	746,765,920	5.36%
2	腎不全	707,617,280	5.08%
3	高血圧性疾患	658,743,610	4.73%
4	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	530,023,570	3.81%
5	その他の悪性新生物	439,907,090	3.16%
6	その他の心疾患	326,467,110	2.34%
7	その他眼及び附属器の疾患	326,033,840	2.34%
8	その他の消化器系の疾患	252,531,780	1.81%
9	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	235,998,770	1.69%
10	喘息	210,078,240	1.51%

出典：佐倉市国民健康保険第二期データヘルス計画・佐倉市国民健康保険第三期特定健康診査等実施計画

② 健診（検診）等の状況

ア　がん検診の状況

・がん検診の受診率は、最新の平成 29 年度実績を掲載しました。

・各検診とも、受診者は前年度に比べて、減少傾向にあります。

図表 12　各種がん検診受診の状況（H29 年度）

検診の種類	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）	受診率前年度比	要精密検査者（人）	精密検査受診者（人）	がん発見者（人）
子宮頸がん	75,666	3,895	5.1%	-0.3	71	62	0
乳がん	67,792	7,746	11.4%	-0.1	329	314	22
胃がん	112,207	13,483	12.0%	-0.1	639	617	24
肺がん	112,207	18,623	16.6%	-0.2	404	329	11
大腸がん	112,207	17,095	15.2%	-0.4	1,068	878	34

出典：健康増進課

イ　特定健康診査の状況

・特定健康診査の受診率は、平成 22 年度以降、増加傾向にあります。

図表 13　特定健康診査受診者数の推移

年度	対象者（人）	受診者（人）	受診率（%）
H22	32,323	9,360	29.0%
H23	33,455	9,838	29.4%
H24	34,174	10,622	31.1%
H25	34,547	10,917	31.6%
H26	34,668	11,204	32.3%
H27	34,025	11,304	33.2%
H28	32,307	10,854	33.6%

出典：健康増進課

ウ　特定保健指導の状況

・特定保健指導の実施率は、平成 22 年度以降、減少傾向にあります。

図表 14　特定保健指導の状況

年度	特定保健指導の対象者数（人）	特定保健指導の終了者数（人）	特定保健指導の実施率(%)
H22	1,200	432	36.0
H23	1,227	419	34.1
H24	1,390	411	29.6
H25	1,270	337	26.5
H26	1,331	312	23.4
H27	1,309	211	16.1
H28	1,206	203	16.8

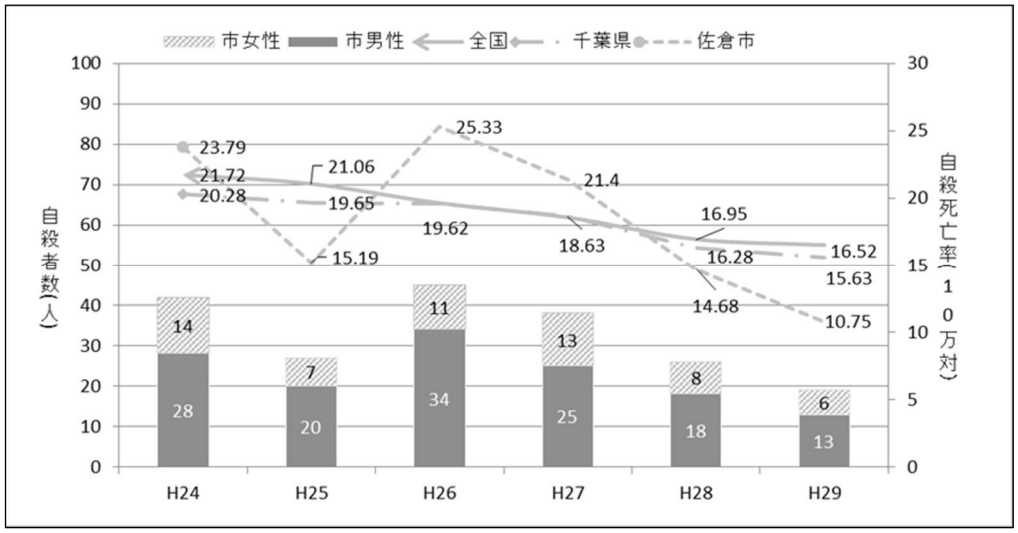
出典：健康増進課

（３）佐倉市における自殺の状況

ア　自殺者数の推移（平成２４年～２９年）

・自殺者数は、男性の自殺者数が女性を大幅に上回っています。

図表 15　自殺者数の推移

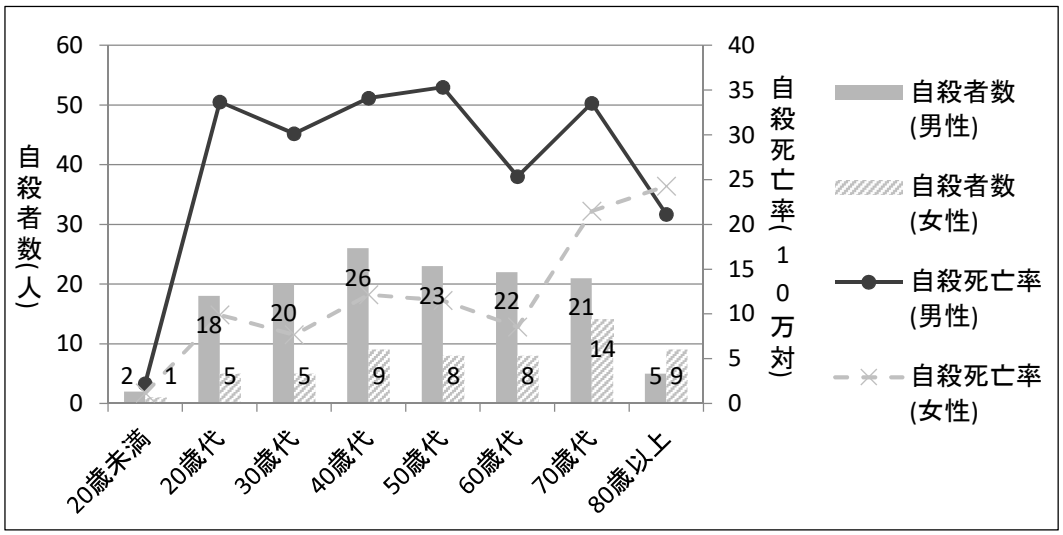


出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

イ　年齢別自殺者数（平成２４年～２９年）

・年齢別では４０歳代男性が最も多くなっています。

図表 16　年齢別自殺者数の推移

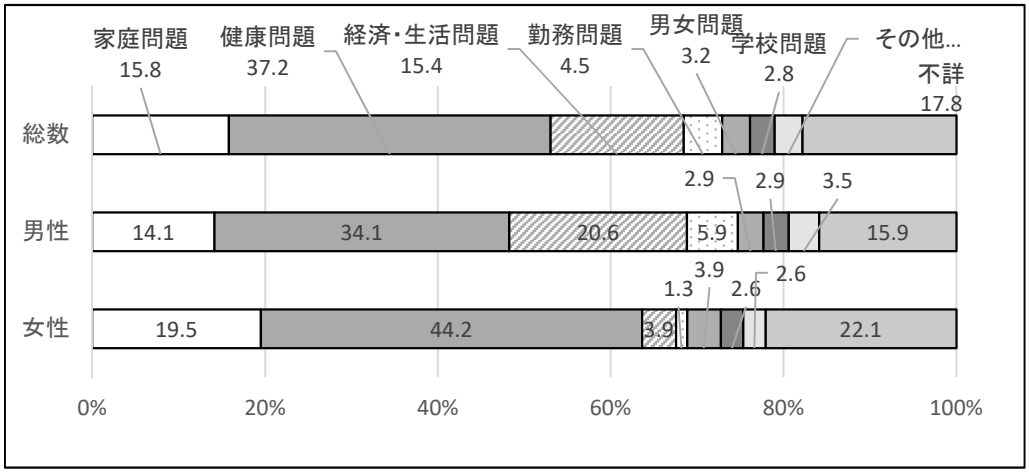


出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

ウ　自殺の動機・原因（平成２４年～２９年）

・男女ともに自殺動機・原因で最も多いのは健康問題です。

図表 17　自殺の動機・原因



出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

エ　自殺の特徴（平成２４年～２８年）

・市民の属性別にみると 60 歳以上の男性・無職者・同居者有が 1 番多くなっています。

・主な自殺の危機経路は、自殺に至るまでの一例として考えられているものです。

図表 18　自殺の特徴

上位5区分	自殺者数 5年計	割合	自殺率 （10万対）	背景にある主な自殺の危機経路
1位：男性60歳以上 無職同居	25	14.0%	30.8	失業（退職）→生活苦＋介護の悩み（疲れ） ＋身体疾患→自殺
2位：女性60歳以上 無職同居	21	11.8%	17.4	身体疾患→病苦→うつ状態→自殺
3位：男性40～59歳 有職同居	18	10.1%	19.3	配置転換→過労→職場の人間関係の悩み ＋仕事の失敗→うつ状態→自殺
4位：男性20～39歳 無職同居	15	8.4%	92.3	①【30代その他無職】ひきこもり＋家族間の不和 →孤立→自殺/②【20代学生】就職失敗→ 将来悲観→うつ状態→自殺
5位：男性20～39歳 有職同居	12	6.7%	20.6	職場の人間関係/仕事の悩み（ブラック企業）→ パワハラ＋過労→うつ状態→自殺

出典：自殺総合対策推進センター「地域自殺実態プロファイル（2017）」

5. 市民健康意識調査の概要

（１）調査の目的

平成３０年度の「健康さくら２１（第２次)」の見直しの中で、課題の検討、目標値や取り組み内容の見直し行うにあたり、事前に市民の健康に対する意識等を調査するため、平成２９年度に「市民健康意識調査」を行いました

（２）調査の対象

分類	対象者の選定方法及び人数
一般市民調査	住民基本台帳から無作為抽出による 19 歳以上の市内在住者 2,000 人
妊娠・出産・育児	市の保健事業（乳児相談、もぐもぐ教室、１歳６か月児健診、３歳児健診）対象の保護者 707 人
幼児・小学生調査	幼　児： 市の保健事業（１歳６か月健診、２歳幼児歯科健診、３歳児健診）対象の保護者 400 人 小学生：市内の小学校３校の２，４，６年生の保護者 369 人(クラス単位)
中・高校生調査	中学生：市内の中学校３校の２年生 383 人（クラス単位） 高校生：市内の高校３校の２年生 510 人（クラス単位）

（３）調査方法

① 一般市民調査･･･郵送配布・郵送回収
② 妊娠・出産・育児･･･郵送配布・郵送回収
③ 幼児・小学生調査･･･幼児：郵送配布・郵送回収、小学生：学校経由で配布・回収
④ 中・高校生調査･･･学校経由で配布・回収

（４）回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
一般市民調査	2,000	1,038	51.9%
妊娠・出産・育児	707	447	63.2%
幼児・小学生調査	769	545	70.9%
中・高校生調査	893	841	94.2%
合計	4,369	2,871	65.7%

（５）各調査の主な傾向

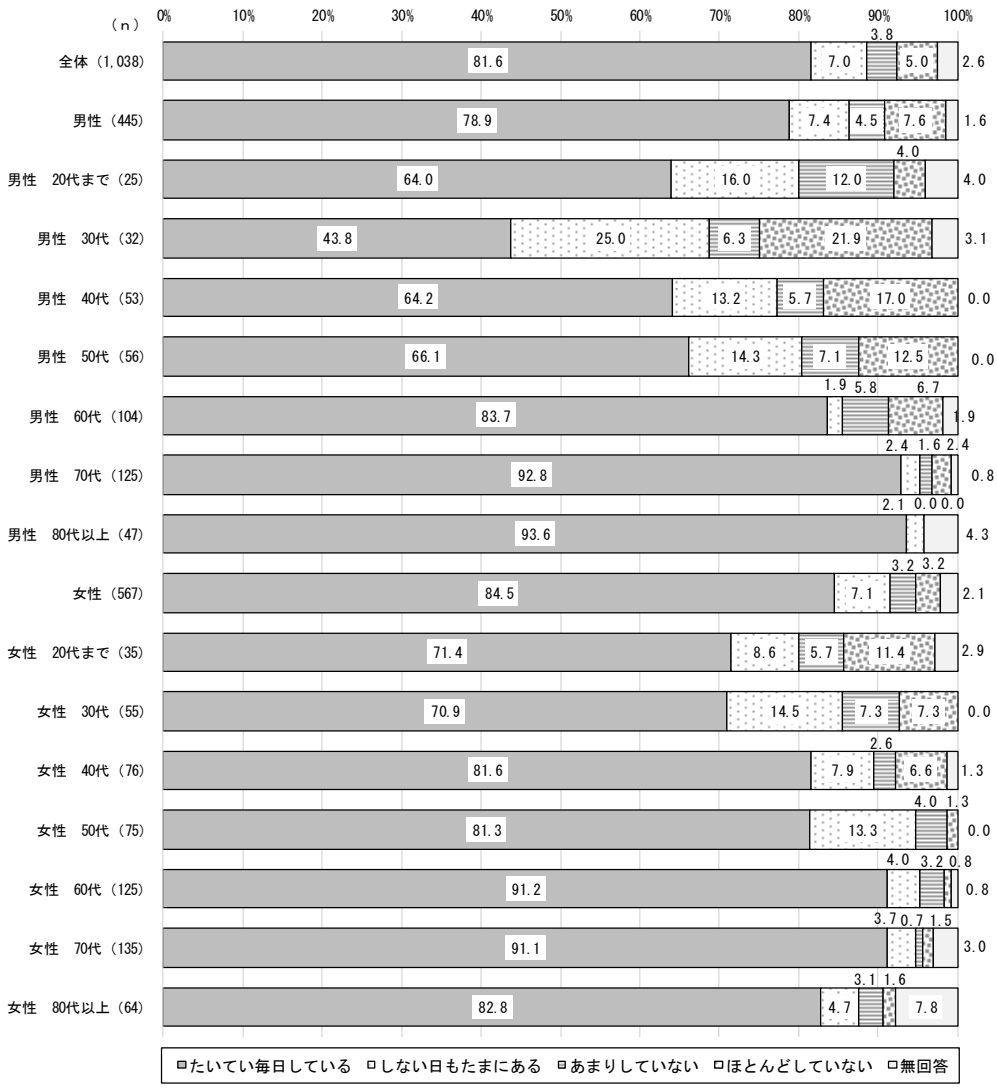
一般市民調査

○食生活に関するふだんのこころがけ

【問】ふだん朝食を食べますか。

性・年齢別にみると、＜男性　70 代＞と、＜男性　80 代以上＞、＜女性　60 代＞、＜女性　70 代＞は「たいてい毎日している」が 9 割以上となっています。＜男性　30 代＞は朝食を食べない人の割合が約 3 割で他の年代に比べて高くなっています。

朝食を食べる／性別、性・年齢

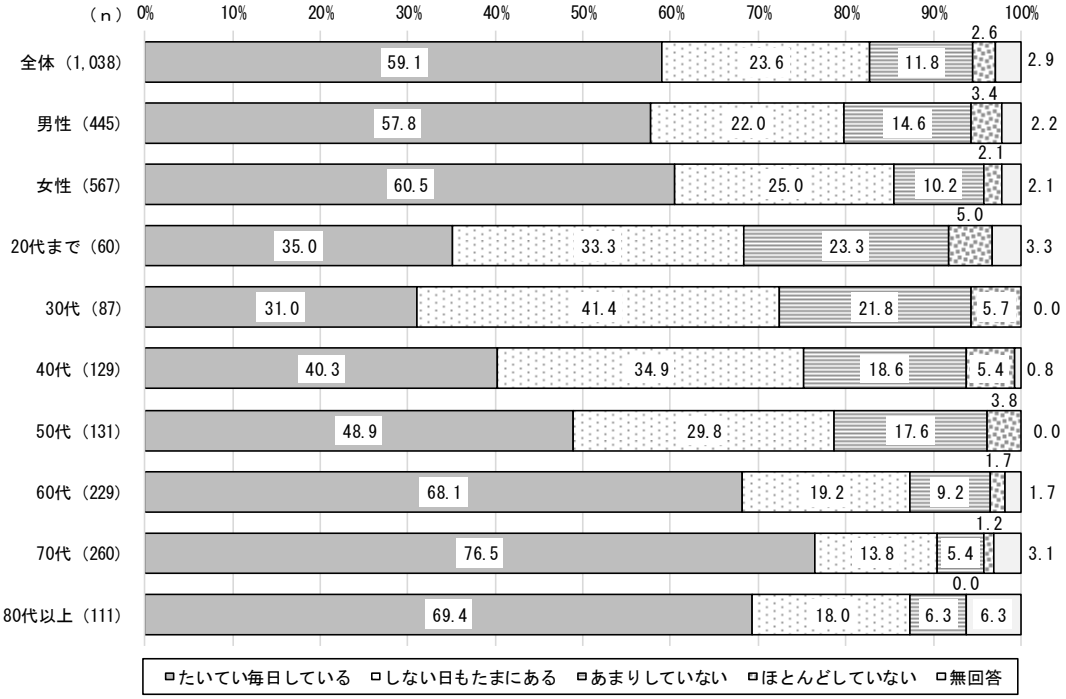


【問】ふだん主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を１日２回以上食べていますか。

性別にみると、＜女性＞は「たいてい毎日している」が 60.5%と、＜男性＞の 57.8%よりも多くなっています。

年齢別にみると、＜70 代＞は「たいてい毎日している」が 76.5%となっています。＜20 代まで＞と＜30 代＞、＜40 代＞は「しない日もたまにある」が３割以上となっています。

主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を１日２回以上食べている／性別、年齢



○身体活動・運動のこころがけ

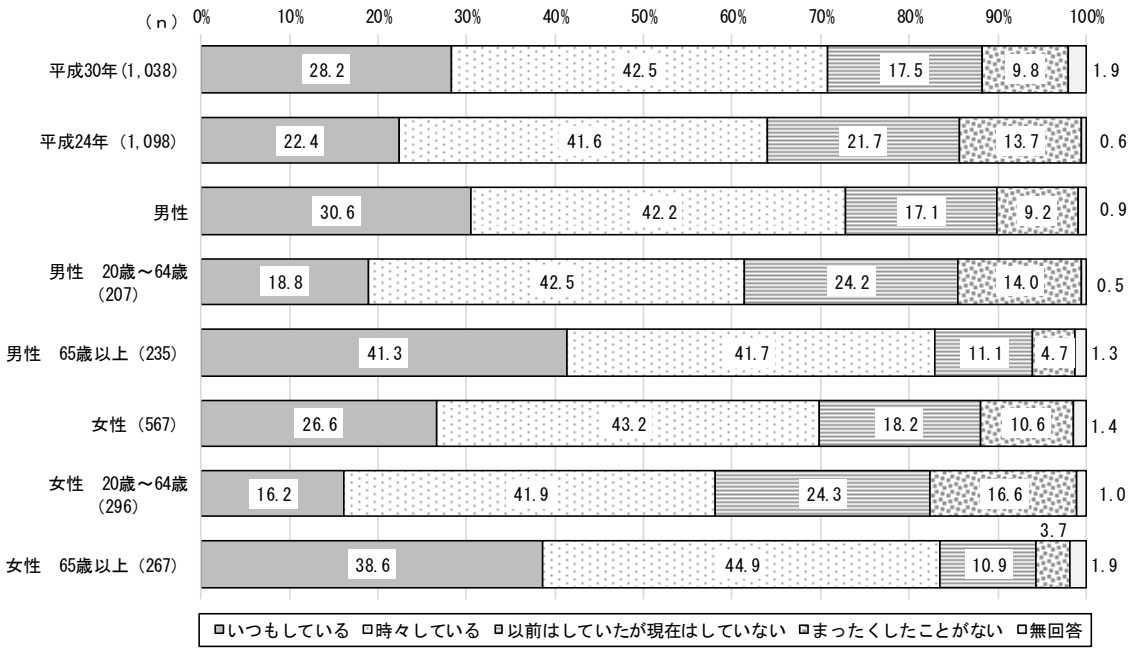
【問】日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすなどの運動をしていますか。

平成 24 年の調査結果と比較すると、「いつもしている」が 5.8 ポイント増加、「まったくしたことがない」が 3.9 ポイント減少しています。

性別にみると、男女に大きな差はありませんでした。

年齢別にみると、＜男性　65 歳以上＞と＜女性　65 歳以上＞は「いつもしている」が約４割で他の世代と比較すると高くなっています。

身体活動・運動のこころがけ／前回、性別、性・年齢



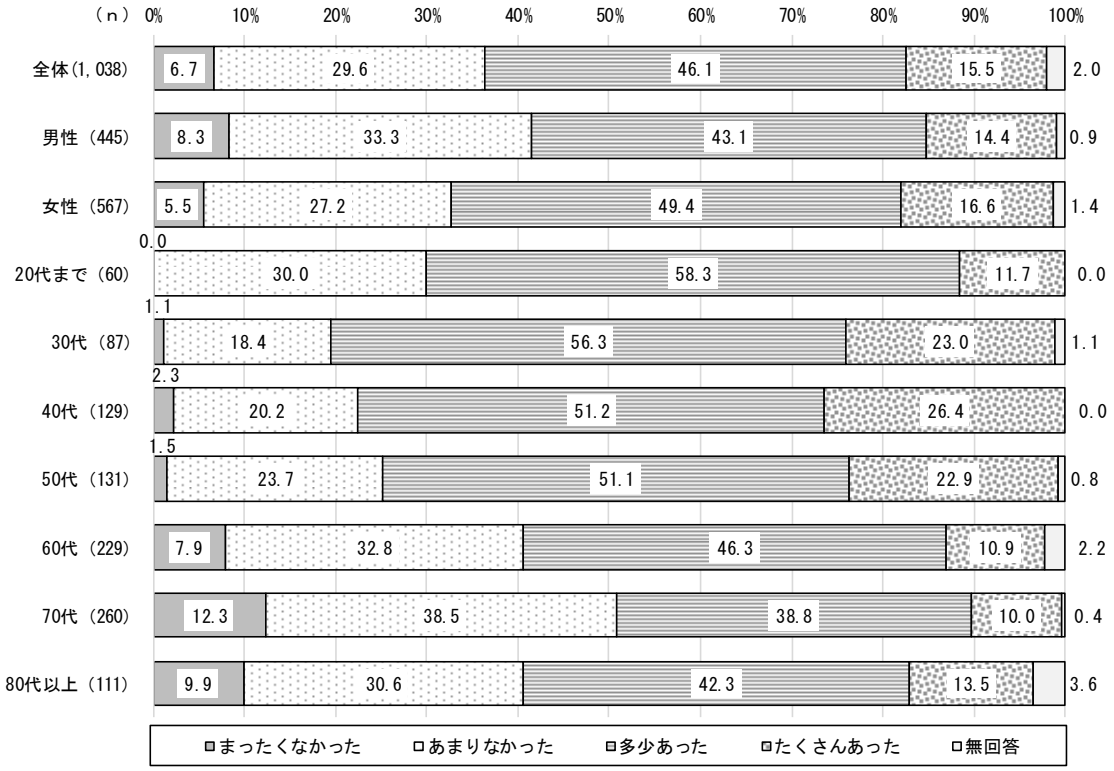
○ストレスの状況

【問】あなたは、この１か月間に、不安、悩み、苦労、ストレスなどがありましたか。

性別にみると、＜女性＞は「多少あった」が 49.4%と＜男性＞より多くなっています。

年齢別にみると、＜20 代まで＞と＜30 代＞、＜40 代＞、＜50 代＞は、半数以上が「多少あった」となっています。特に、＜40 代＞は「たくさんあった」が 26.4%と、４人に１人以上となっています。

過去１か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無／性別、性・年齢



妊娠・出産・育児

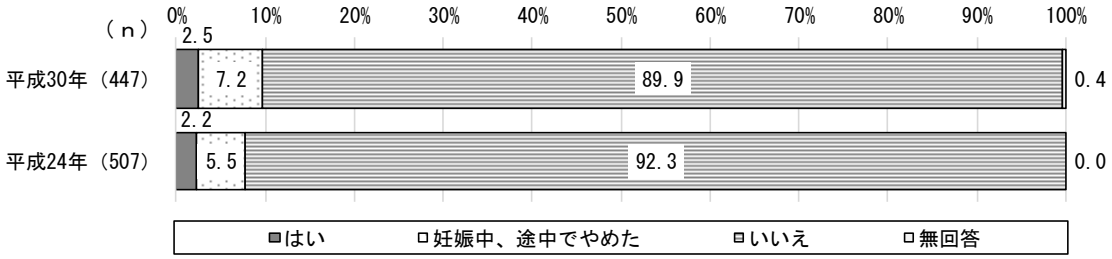
○喫煙状況・飲酒状況

【問】妊娠中、喫煙はしていましたか。

妊娠中の喫煙は、「はい」が 2.5%、「いいえ」が 89.9%となっています。

平成 24 年の調査結果と比べると、「いいえ」は 2.4 ポイント減少し、「はい」は 0.3 ポイント増加しています。

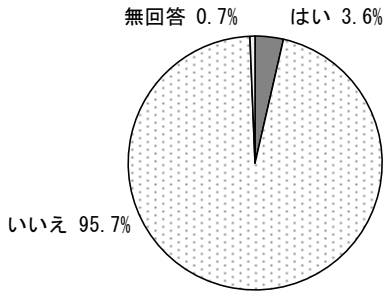
妊娠中の喫煙／前回



【問】妊娠中、飲酒はしていましたか。

妊娠中の飲酒状況は、「いいえ」が 95.7%、「はい」が 3.6%となっています。

妊娠中の飲酒状況



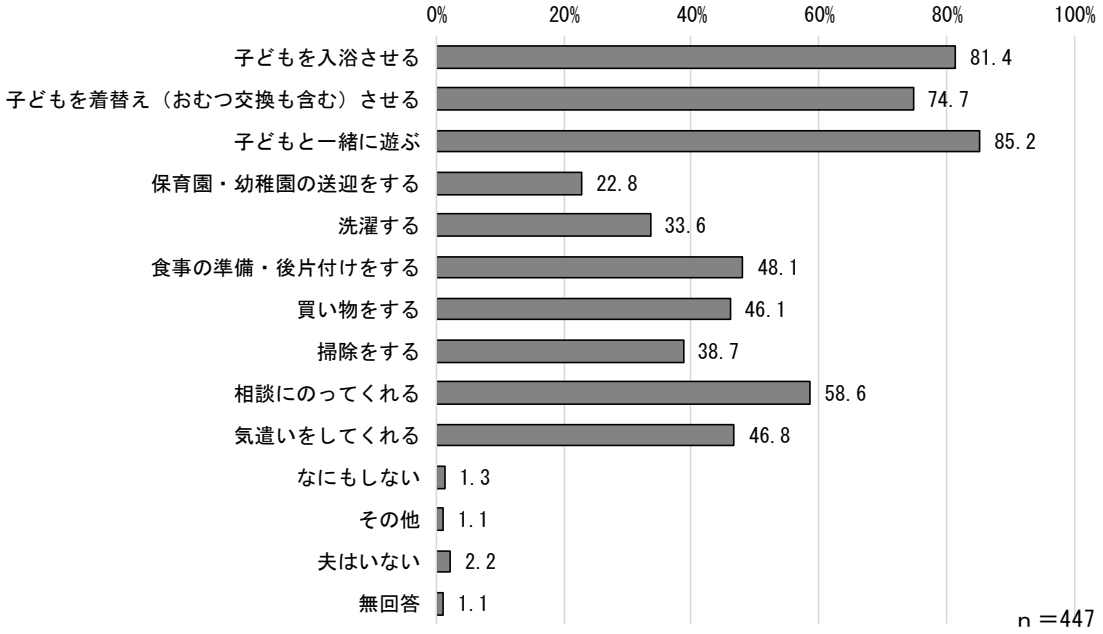
ｎ＝447

○夫の育児参加

【問】夫は、育児にどのような形で参加してくれていますか。（複数回答可）

夫の育児参加の状況は、「子どもと一緒に遊ぶ」が 85.2%と最も高く、次いで「子どもを入浴させる」が 81.4%、「子どもを着替え（おむつ交換も含む）させる」が 74.7%となっています。

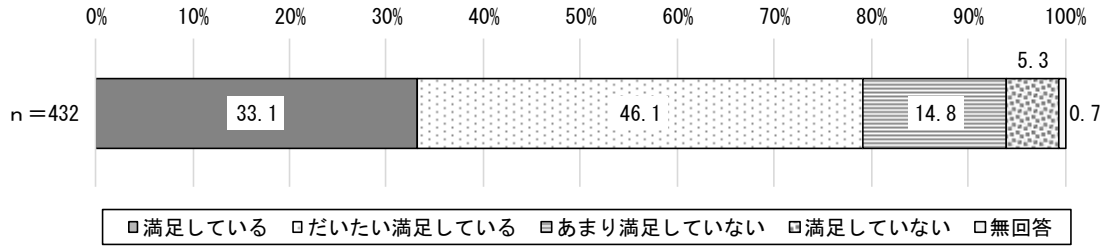
夫の育児参加の状況



【問】夫の育児参加の状況について回答した方へ　夫の協力の仕方に満足していますか。

夫の協力の満足度は、「だいたい満足している」が 46.1%と最も高く、次いで「満足している」が 33.1%となっています。

夫の協力の満足度



○育児の不安

【問】今のあなたの気持ちに一番あてはまるものに○をつけてください。

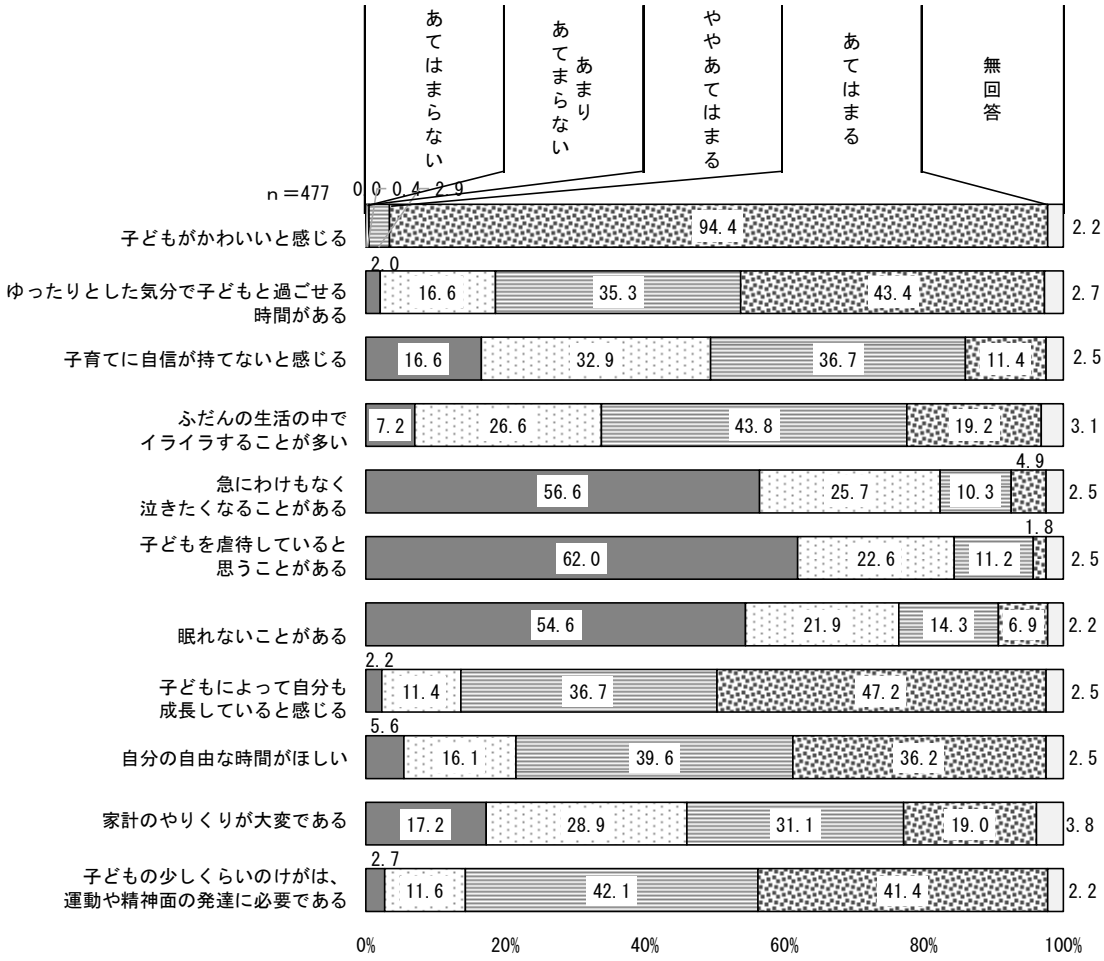
＜子どもがかわいいと感じる＞は、９割以上が「あてはまる」となっています。

＜急にわけもなく泣きたくなることがある＞と＜眠れないことがある＞、＜子どもを虐待していると思うことがある＞は、半数以上が「あてはまらない」となっています。

＜自分の自由な時間がほしい＞は、「ややあてはまる」と「あてはまる」の合計は約７割となっています。

＜子どもの少しくらいのけがは、運動や精神面の発達に必要である＞は、「ややあてはまる」と「あてはまる」の合計は約８割となっています。

保護者の現在の気持ち

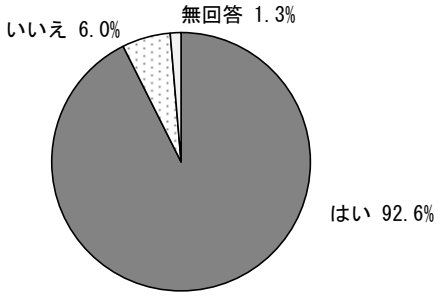


○かかりつけ医

【問】小児科のかかりつけ医を持っていますか。

小児科のかかりつけ医の有無は、「はい」が 92.6%、「いいえ」は 6.0%となっています。

小児科のかかりつけ医の有無

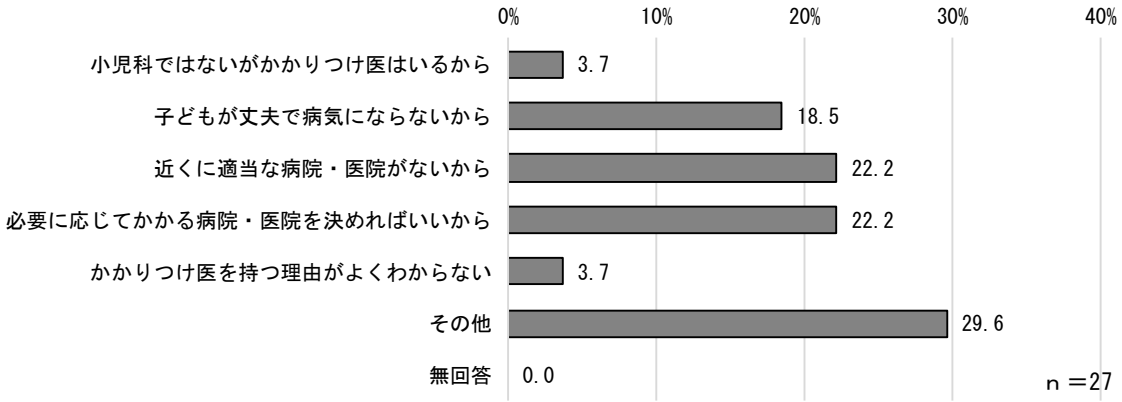


n =447

【問】 「いいえ」と答えた方へ
かかりつけ医を持っていない理由で最もあてはまるものは何ですか。

かかりつけ医を持っていない理由は、「その他」を除いて「近くに適当な病院・医院がないから」と「必要に応じてかかる病院・医院を決めればいいから」が 22.2%と最も高くなっています。

かかりつけ医を持っていない理由



n =27

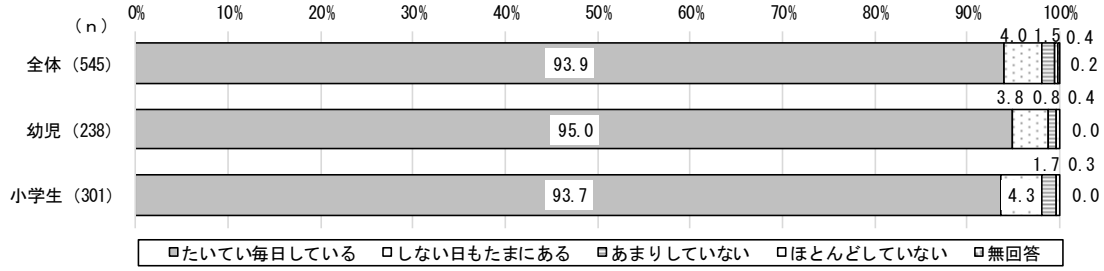
幼児・小学生

○子どもの食生活

【問】ふだん朝食を食べますか。

朝食を食べるは、「たいてい毎日している」が 93.9%、「しない日もたまにある」が 4.0%となっています。「ほとんどしていない」は 0.4%となっています。

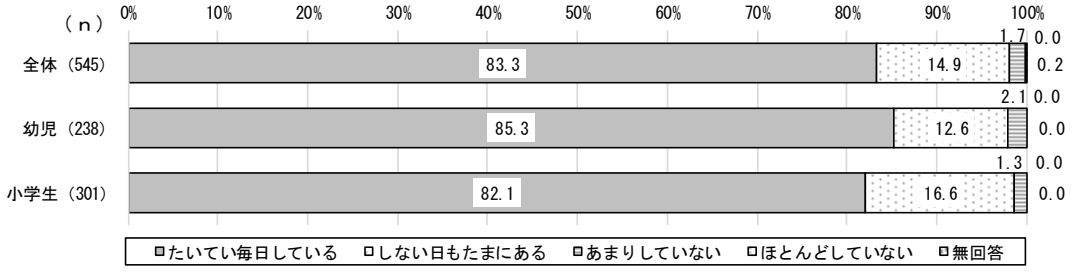
朝食を食べる／幼児・小学生



【問】ふだんお子さんに、１日３回規則正しい食事を心がけていますか。

お子さんに、１日３回規則正しい食事を心がけているは、「たいてい毎日している」が 83.3%、「しない日もたまにある」が 14.9%となっています。

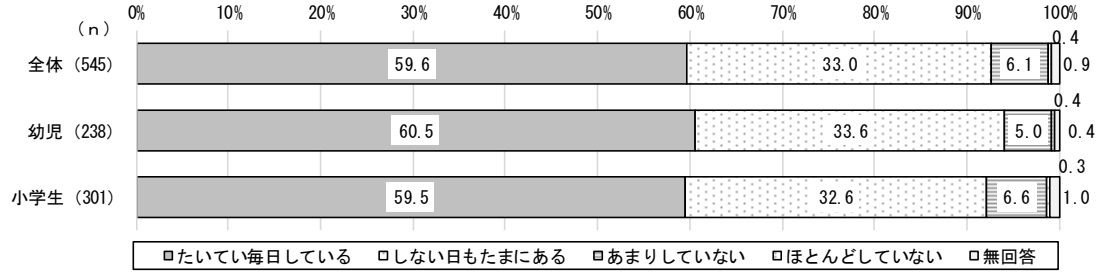
お子さんに、１日３回規則正しい食事を心がけている／幼児・小学生



【問】ふだんお子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考えていますか。

お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考えるは、「たいてい毎日している」が 59.6%、「しない日もたまにある」は 33.0%となっています。

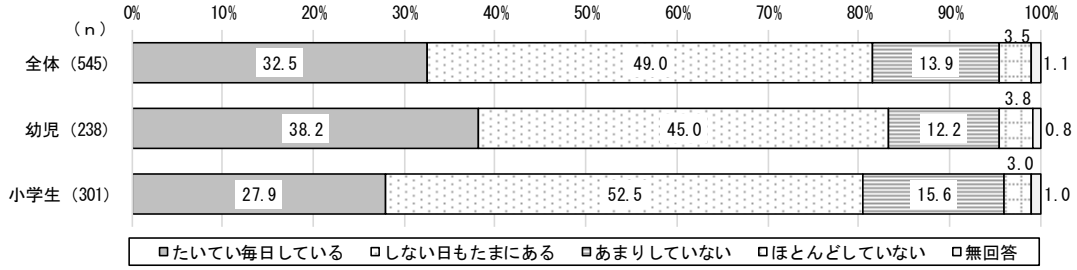
お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考える／幼児・小学生



【問】ふだん毎食（３食）、野菜料理を食べさせていますか。

毎食（３食）、野菜料理を食べさせるは、「しない日もたまにある」が 49.0%、「たいてい毎日している」が 32.5%となっています。

毎食（３食）、野菜料理を食べさせる／幼児・小学生



○子どもの外遊び

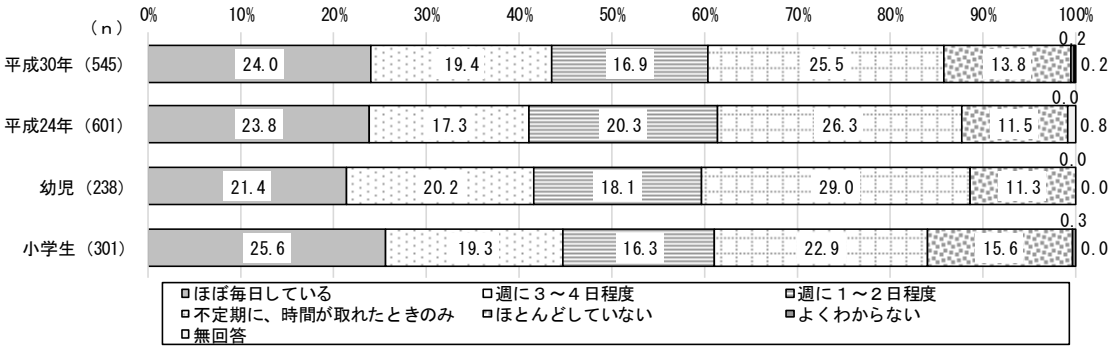
【問】お子さんは、どのくらい外遊びをしますか。（保育園、幼稚園、学校などに通っている場合は、帰宅してからの時間の外遊び）

子どもの外遊びの頻度は、「不定期に、時間が取れたときのみ」が 25.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日している」が 24.0%となっています。

平成 24 年調査結果と比較すると、大きな差はありませんが、「ほとんどしていない」は 2.3 ポイント増加しています。

幼児・小学生別にみると、＜小学生＞は「ほぼ毎日している」が 25.6%、＜幼児＞は「不定期に、時間が取れたときのみ」が 29.0%と全体で最も高くなっています。

子どもの外遊びの頻度／前回、幼児・小学生



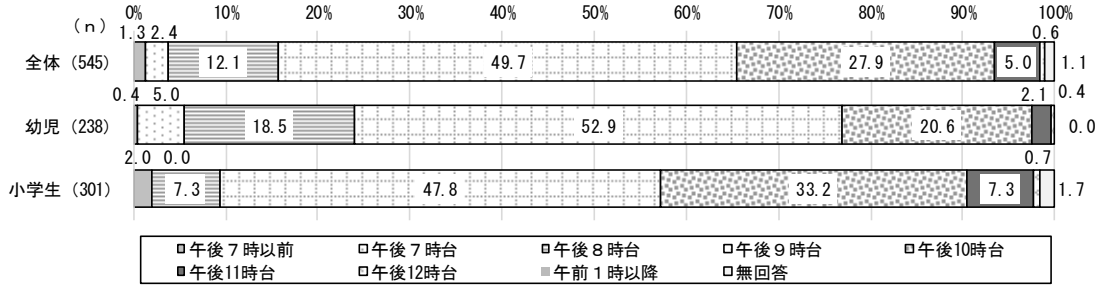
○子どもの睡眠時間

【問】お子さんの就寝時間と起床時間を24時間表記（例：夜11時なら23時など）でお答えください。

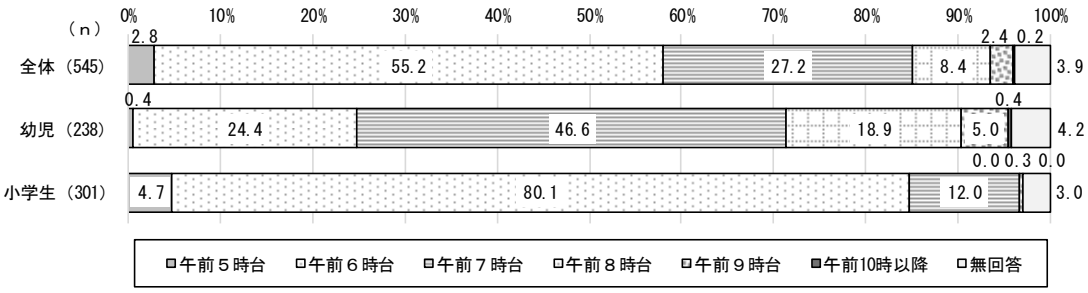
子どもの就寝時間は、＜小学生＞は「午後９時台」が 47.8%、「午後 10 時台」が 33.2%となっています。幼児では、「午後９時台」が半数以上となっています。

起床時間は、幼児の４割以上は「午前７時台」、小学生の約８割が「午前６時台」となっています。

子どもの就寝時間／幼児・小学生



子どもの起床時間／幼児・小学生



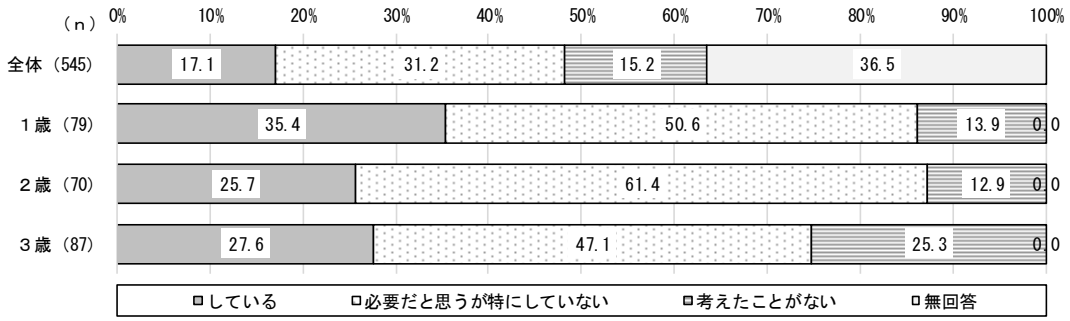
○風呂場の事故防止

【問】（お子さんが幼児の場合のみ）
あなたの家庭では、風呂場の事故予防のためにお子さんがドアを開けられないようにロックするなどの工夫をしていますか。

風呂場での事故防止のための工夫は、「必要だと思うが特にしていない」が 31.2%、「している」が 17.1%となっています。

子どもの年齢別にみると、＜１歳＞と＜２歳＞の半数以上が「必要だと思うが特にしていない」となっている一方で、＜１歳＞は「している」が 35.4%となっています。＜３歳＞は「考えたことがない」が 25.3%と最も高くなっています。

風呂場での事故防止のための工夫／幼児



中・高校生

○自分の健康への関心

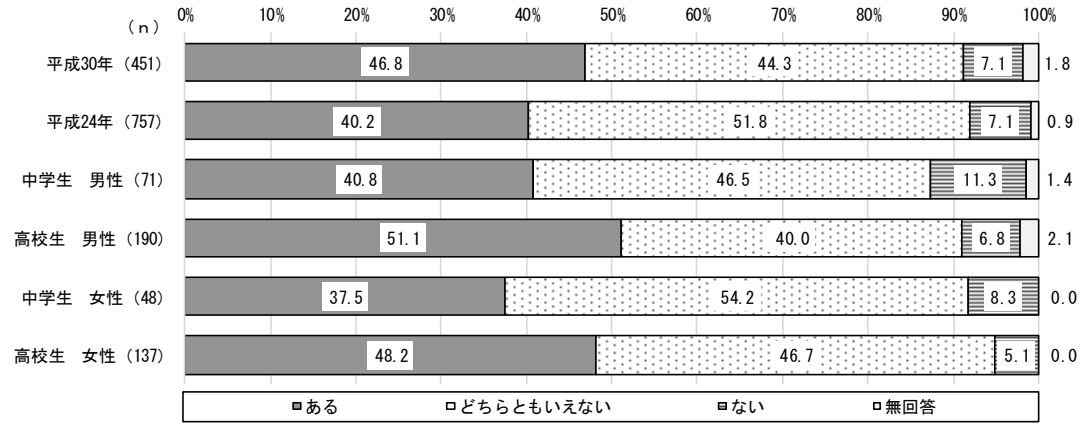
【問】自分の健康に関心がありますか。

自分の健康に関心はあるかは、「ある」は 46.8%、「どちらともいえない」は 44.3%となっています。

平成 24 年調査結果と比較すると、「ある」は 6.6 ポイント増加しています。

中・高校生・性別にみると、＜高校生　男性＞は「ある」は 51.1%と全体で最も高くなっています。＜中学生　男性＞は、「ない」が 11.3%となっています。

自分の健康に関心はあるか／前回、中・高校生・性別



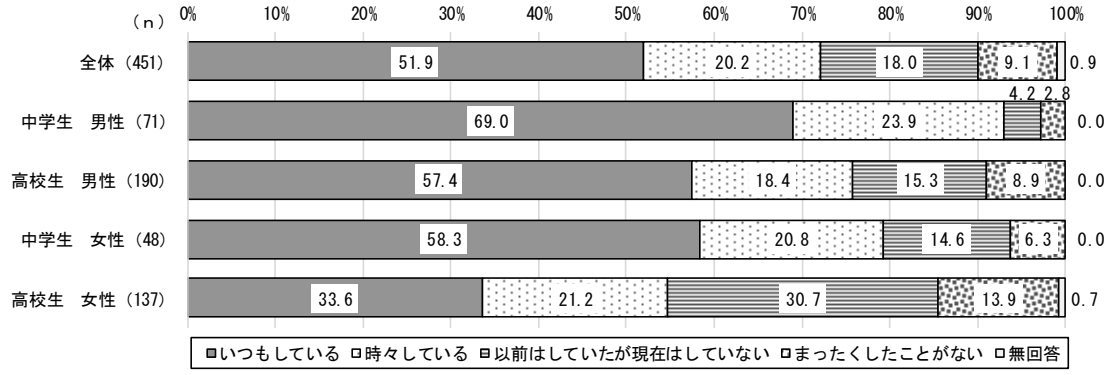
○日頃の活動

【問】日頃から、学校の授業以外で、健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすなどの運動（部活動等を含む）をしていますか。

授業以外での身体活動・運動の有無は、「いつもしている」が 51.9%と最も高く、次いで「時々している」が 20.2%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生　男性＞は「いつもしている」が 69.0%と全体で最も高くなっています。＜高校生　女性＞は、「いつもしている」が 33.6%、「まったくしたことがない」は 13.9%となっています。

授業以外での身体活動・運動の有無／中・高校生・性別



○ストレスの状況

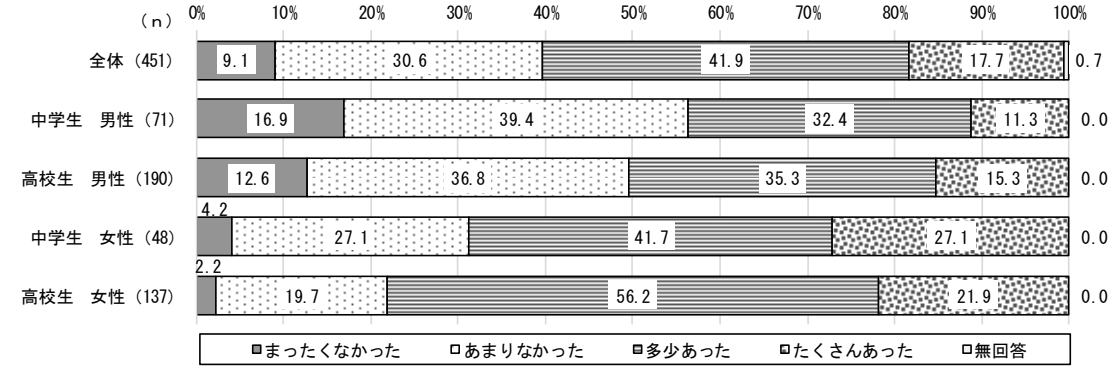
【問】あなたは、この１か月間に、不安、悩み、苦労、ストレスなどがありましたか。

過去１か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無は、「多少あった」は 41.9%と最も高く、次いで「あまりなかった」は 30.6%となっています

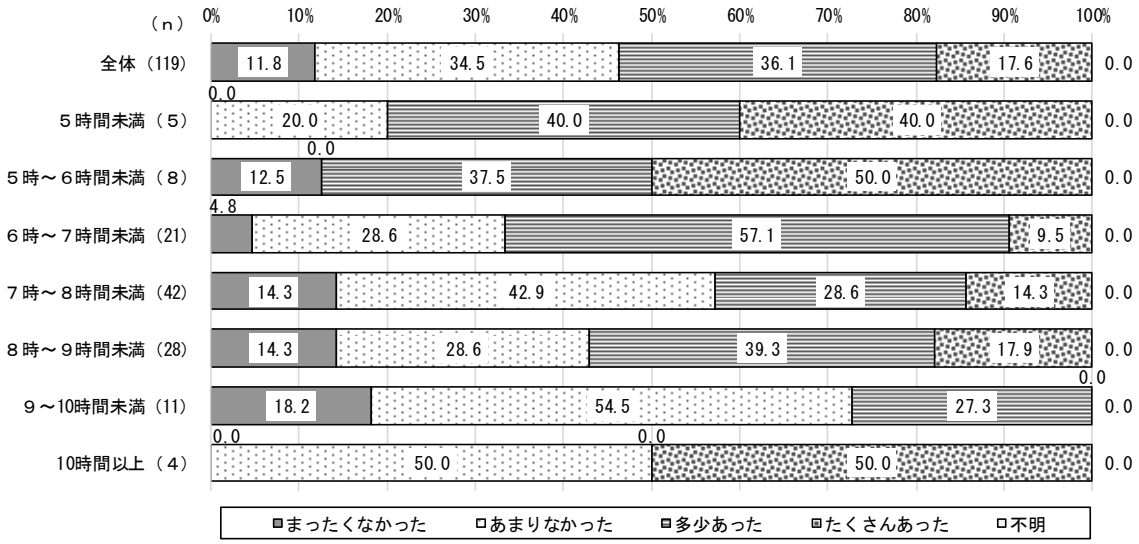
中・高校生・性別にみると、＜中学生　女性＞と＜高校生　女性＞は「たくさんあった」が２割以上、「多少あった」と合計すると半数以上でストレスがあったとなっています。

睡眠時間（中学生）別にみると、＜５時間未満＞と＜５時間～６時間未満＞、＜10 時間以上＞が「たくさんあった」が４割以上となっています。

過去１か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無／中・高校生・性別



過去１か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無／睡眠時間（中学生）

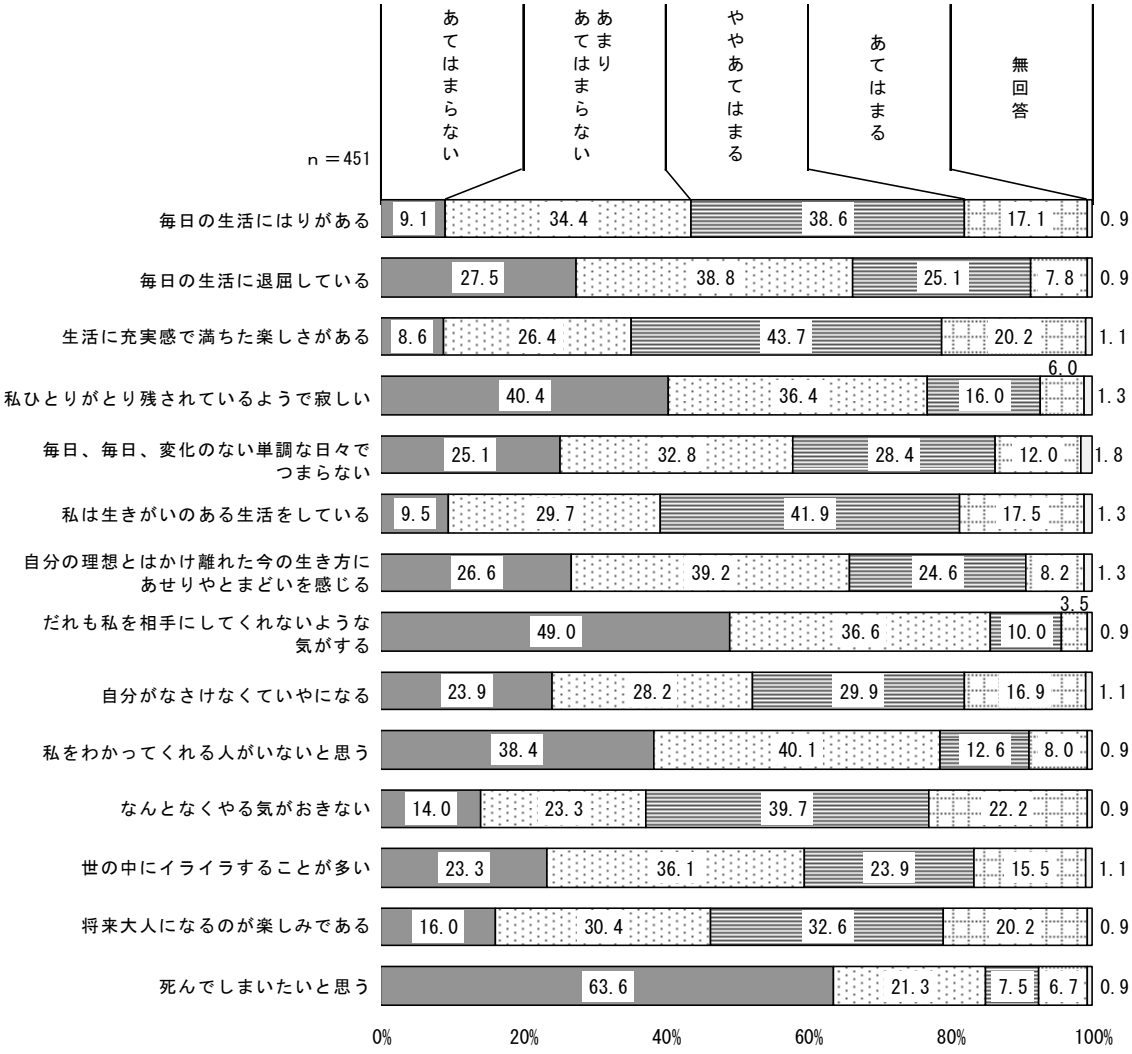


○毎日の生活や気持ち

【問】次の質問について、最もあてはまる選択肢の番号に1つだけ○をつけてください。

毎日の生活や気持ちは、＜私ひとりがとり残されているようで寂しい＞と＜だれも私を相手にしてくれないような気がする＞、＜死んでしまいたいと思う＞は「あてはまらない」が４割以上となっています。＜毎日の生活にはりがある＞と＜生活に充実感で満ちた楽しさがある＞、＜私は生きがいのある生活をしている＞、＜なんとなくやる気がおきない＞が「ややあてはまる」が約４割となっています。

毎日の生活や気持ち



○赤ちゃんを育てること

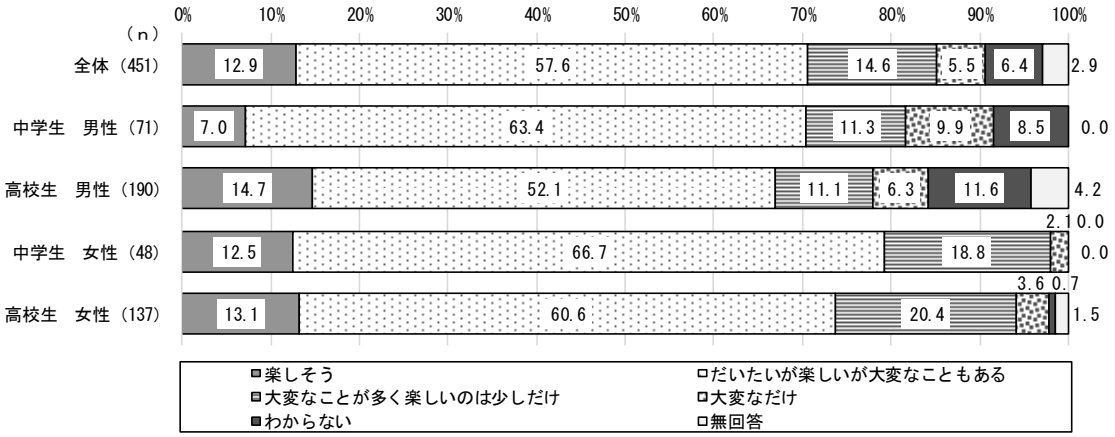
【問】あなたは、赤ちゃんを育てることについてどう思いますか。（○は１つだけ）

赤ちゃんを育てることについてどう思うかは、「だいたいが楽しいが大変なこともある」は 57.6%と最も高く、次いで「大変なことが多く楽しいのは少しだけ」が 14.6%、「楽しそう」が 12.9%となっています。

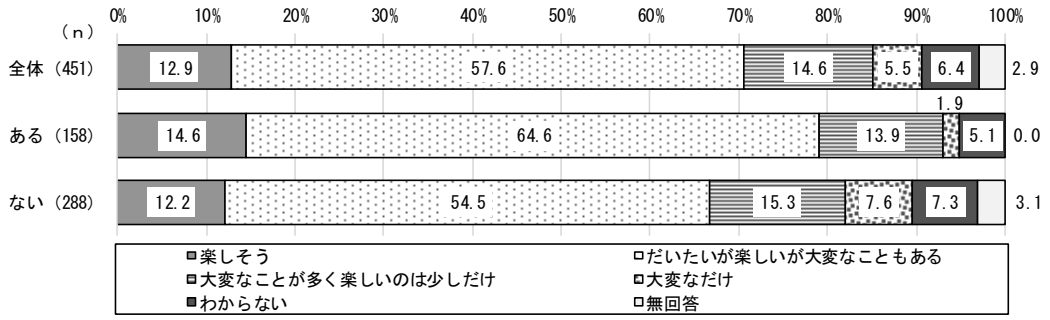
中・高校生・性別にみると、＜高校生　男性＞と＜中学生　女性＞、＜高校生　女性＞は「楽しそう」が１割以上となっています。＜中学生　男性＞と＜中学生　女性＞、＜高校生女性＞は「だいたいが楽しいが大変なこともある」が６割以上となっています。

過去１～２年の間に赤ちゃんを抱いた経験別にみると、経験のある人では、「楽しそう」と「だいたい楽しいが大変なこともある」が高くなっています。一方、経験のない人では、「大変なことが多く楽しいのは少しだけ」が高くなっています。

赤ちゃんを育てることについてどう思うか／中・高校生・性別



赤ちゃんを育てることについてどう思うか／過去１～２年の間に赤ちゃんを抱いた経験



6.データソース一覧

＊新たな目標項目、目標値には　網掛け　しています。

Ⅱ-1　妊娠・出産・周産期

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	育児に参加する父親の割合		84.0%	**新規の指標2に変更**	
2	夫の育児協力に満足している人の割合		79.2%	**新規の指標2に変更**	
3	新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問を受けた人の割合		93.5%	94.0%	H29年度事業実績
4	妊娠11週以下での妊娠届け出の割合		91.4%	95.0%	H29年度事業実績
5	妊娠中の飲酒と喫煙の割合	妊娠中飲酒していた母親	5.0%	0.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		妊娠中の母親の前で吸っていた家族	12.4%	0.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		妊娠中に喫煙していた母親	2.4%	0.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
6	市または病院のマタニティクラスを受講した人の割合		78.3%	増加	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児期）
新1	**妊娠・出産について満足している人の割合**		**81.1%**	**86.0%**	母子保健に関する実施状況調査（4か月乳児相談の問診項目から集計）
新2	**積極的に育児をしている父親の割合**		**61.1%**	**66.0%**	母子保健に関する実施状況調査（4か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診の問診項目から平均を集計）

Ⅱ-2　健康管理

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	健康づくりのために栄養や食事について考えていない保護者の割合	幼児の保護者	0.4%	0.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生の保護者	0.3%	0.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
2	朝食を食べない幼児・小学生の割合	幼児	0.4%	0.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生	0.3%	0.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
3	おやつの目的を理解している保護者の割合		22.7%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
4	夜10時までに就寝する幼児・小学生の割合	幼児	97.5%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生	90.4%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
5	肥満傾向にある子どもの割合	男子	4.5%	減少	H29年度児童生徒の肥満度調査
		女子	2.5%	減少	H29年度児童生徒の肥満度調査
6	外遊びをしない幼児・小学生の割合		13.8%	減少	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
7	運動やスポーツを習慣的にしている子どもの割合	男子	-	**新規の指標1に変更**	
		女子	-		
8	風呂場の事故防止のために、子どもがドアを開けられないように工夫している家庭の割合（1歳児）		35.4%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
9	心肺蘇生法を実施できる保護者の割合	習った経験のある乳幼児の保護者	70.2%	増加	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児期）
		うち、心肺蘇生法を行う自信のある乳幼児の保護者	7.3%%	増加	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児期）
10	チャイルドシート着用の割合		97.3%	100.0%	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児期）
11	かかりつけの小児科医をもつ人の割合		92.6%	100.0%	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児期）
12	BCGを1歳までに受ける人の割合		101.4%	100.0%	定期の予防接種実施者数（健やか親子21（第2次）の算出方法に準ずる）
13	麻しん・風しんの予防接種を終了している人の割合	第1期	102.3%（事業実績値）	**新規の指標3に変更**	
		第2期	94.3%（事業実績値）		
14	1歳6か月児健診、3歳児健診に満足している保護者の割合		74.8%	増加	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児期）
新1	**学校の運動部や地域のスポーツクラブに入っている子どもの割合（スポーツ少年団を含む）**	**男子**	**76.6%**	**増加**	全国体力運動能力、運動習慣等調査
		女子	**62.8%**	**増加**	全国体力運動能力、運動習慣等調査
新2	**1歳6か月までに四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）の予防接種（1期初回）を終了している人の割合**		**97.2%**	**増加**	母子保健に関する実施状況等調査
新3	**1歳6か月までに麻しん風しんの予防接種を終了している人の割合**		**88.9%**	**増加**	母子保健に関する実施状況等調査

Ⅱ-3 育児

No.	目標項目	現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	子育てに自信が持てない保護者の割合	48.1%	23.0%	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児期）
2	子どもを虐待していると思う保護者の割合	10.3%	0.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
3	ゆったりと過ごせる時間が持てる保護者の割合	78.9%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
4	子どもをかわいいと思える保護者の割合	98.9%	100.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
5	〔再掲〕育児に参加する父親の割合 （Ⅱ-1 妊娠・出産・育児 1）	84.0%	**新規の指標1に変更**	
6	〔再掲〕夫の育児協力に満足している人の割合 （Ⅱ-1 妊娠・出産・育児 2）	79.2%	**新規の指標1に変更**	
7	育児についての相談相手のいない保護者の割合	3.5%	0.7%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
8	近所に育児について話し合える友人のいる保護者の割合	65.8%	84.0%	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児期）
新1	**〔再掲〕積極的に育児をしている父親の割合 （Ⅱ-1 妊娠・出産・周産期 新2）**	**61.1%**	**66.0%**	母子保健に関する実施状況調査（H29・4か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診の問診項目）
新2	**育てにくさを感じたときに対処できる親の割合**	**90.2%**	**95.0%**	母子保健に関する実施状況調査（H29・4か月乳児相談、1歳6か月児健診、3歳児健診の問診項目）

Ⅱ-4 思春期

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	シンナー・薬物使用を勧められたとき、断る自信のある中・高校生の割合		78.0%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
2	シンナー・薬物使用の有害性について、知っている中・高校生の割合	習慣性 中学生男子	95.8%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		習慣性 中学生女子	95.8%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		習慣性 高校生男子	96.8%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		習慣性 高校生女子	98.5%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		脳や肝臓を破壊 中学生男子	84.5%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		脳や肝臓を破壊 中学生女子	93.8%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		脳や肝臓を破壊 高校生男子	94.2%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		脳や肝臓を破壊 高校生女子	93.4%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		幻覚・幻聴 中学生男子	90.1%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		幻覚・幻聴 中学生女子	89.6%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		幻覚・幻聴 高校生男子	96.8%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		幻覚・幻聴 高校生女子	98.5%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
3	避妊法を正確に知っている高校生の割合	「知っている」 高校生男子	85.3%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		「知っている」 高校生女子	91.2%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
4	性感染症を正確に知っている高校生の割合	エイズ	93.9%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		クラミジア	47.7%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		梅毒	32.4%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		淋病	17.4%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		性器ヘルペス	22.9%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		尖形コンジローム	9.5%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
5	性についてオープンに話せる家庭の割合		31.6%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
6	子どもから性に関する悩みや質問を受けたときにきちんと答えられる保護者の割合	幼児保護者	40.3%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生保護者	48.8%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
7	自己肯定感を持てる中・高校生の割合	男子	50.6%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		女子	43.8%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
8	育児に関して肯定的な意見を持つ中・高校生の割合	男子	67.8%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		女子	75.2%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
9	子育ては地域ぐるみで行うべきだと考える成人の割合		82.4%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
10	近所の人と会ったときに挨拶をする中・高校生の割合		90.7%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）

Ⅲ-1 生活習慣病

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	がん検診の受診者の割合	子宮頸がん	5.1%	50.0%	地域保健・健康増進事業報告
		乳がん	11.4%	50.0%	
		胃がん	12.0%	50.0%	
		肺がん	16.6%	50.0%	
		大腸がん	15.2%	50.0%	
2	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合		27.1%	18.7%	H29年度法定報告
3	特定健康診査・特定保健指導の実施の割合	特定健康診査	34.2%	60.0%	H29年度法定報告
		特定保健指導	13.9%	60.0%	H29年度法定報告
4	糖尿病治療継続者の割合		80.0%	95.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）

Ⅲ-2 栄養・食生活

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	肥満・やせの割合	20～60歳代男性の肥満者	27.0%	減少	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		40～60歳代女性の肥満者	19.2%	15.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		20歳代女性のやせの者	17.1%	15.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		40歳代男性の肥満者＊	20.8%	減少	市民健康意識調査（H29・一般市民）
2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合＊		59.1%	80.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
3	朝食を必ず食べる人の割合＊	20歳代男性	64.0%	増加	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		30歳代男性	43.8%	増加	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		20歳代女性	71.4%	増加	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		30歳代女性	70.9%	増加	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		40歳代女性	81.6%	増加	市民健康意識調査（H29・一般市民）
4	食事を一人で食べる子どもの割合	朝食・小学生	35.6%	減少	食に関するアンケート（H27年度）
		朝食・中学生	43.7%	減少	食に関するアンケート（H27年度）
		夕食・小学生	2.7%	減少	食に関するアンケート（H27年度）

Ⅲ-3 身体活動・運動

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	日常生活の中で1日に歩く歩数（時間）	20～64歳男性	8,013歩	9,000歩（90分）	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		20～64歳女性	5,895歩	8,500歩（85分）	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		65歳以上男性	5,544歩	7,000歩（70分）	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		65歳以上女性	4,580歩	6,000歩（60分）	市民健康意識調査（H29・一般市民）
2	運動が習慣化（30分週2回以上もしくは週1回1時間以上）している人の割合	20～64歳男性	29.0%	36.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		20～64歳女性	24.3%	33.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		65歳以上男性	37.4%	58.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		65歳以上女性	40.1%	48.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
3	積極的に外出する高齢者の割合	60歳以上男性	66.7%	74.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		60歳以上女性	63.6%	70.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
4	ロコモティブシンドロームを認知している人の割合		32.2%	80.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
5	足腰に痛みのある高齢者の減少（千人当たり）	男性	174人	減少	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		女性	184人	減少	市民健康意識調査（H29・一般市民）
6	社会参加している高齢者の割合	男性	60.4%	80.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		女性	61.8%	80.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）

Ⅲ-5 飲酒

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	適正飲酒量を認識している人の割合		64.9%	100.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
2	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	男性	15.7%	13.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		女性	12.9%	6.4%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
3	妊娠中に飲酒をしていた母親の割合		3.6%	0.0%	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児）
4	未成年者の飲酒の割合	中学生男子	62.0%	0.0%	市民健康意識調査（H29・中・高校生）
		中学生女子	47.9%	0.0%	市民健康意識調査（H29・中・高校生）
		高校生男子	25.3%	0.0%	市民健康意識調査（H29・中・高校生）
		高校生女子	18.2%	0.0%	市民健康意識調査（H29・中・高校生）

Ⅲ-6 喫煙

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	成人の喫煙の割合		11.5%	11.3%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
3	未成年の喫煙の割合	中学生	0.0%	0.0%	市民健康意識調査（H29・中・高校生）
		高校生	5.8%	0.0%	市民健康意識調査（H29・中・高校生）
2	妊娠中の喫煙の割合		2.5%	0.0%	市民健康意識調査（H29・妊娠出産育児）
4	受動喫煙（行政機関・医療機関）の機会を有する者の割合	行政機関	7.5%	0.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		医療機関	5.3%	0.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
5	COPDを認知している人の割合		24.9%	80.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）

Ⅲ-7 歯と口腔

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	むし歯のない人の割合	3歳児	86.7%	90.0%	H29年度3歳児健康診査
		中学1年生	70.1%	75.0%	H29年度定期健康診断結果
2	歯肉炎を有する中学生の割合	中学1年生	23.6%	20.0%	H29年度定期健康診断結果
3	フッ化物配合歯みがき剤を使う人の割合	3歳児	70.1%	90.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生	63.1%	90.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
4	よくかんで食べる人の割合	小中高生	31.3%	50.0%	市民健康意識調査（H29・幼児小学生・中・高校生）
		60歳代	30.1%	90.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
5	40歳で喪失歯のない人の割合	40歳（35～44歳）	63.8%	75.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
6	6024・8020達成者の割合	60歳で24歯以上	70.1%	80.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		80歳で20歯以上	53.3%	60.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
7	定期歯科健診を受けている人の割合	20歳以上	42.1%	65.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
8	歯間部清掃用具を使用している人の割合	20歳代	20.0%	50.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		40歳代	41.9%	50.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		60歳代	46.7%	50.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
9	施設での定期的な歯科検診実施の割合	障害（児）者入所施設	66.7%	90.0%	口腔意識調査（H29・施設入所者）
		介護老人福祉施設 介護老人保健施設	66.7%	75.0%	口腔意識調査（H29・施設入所者）
新1	**仕上げ磨きをする親の割合**	**1歳6か月児**	**72.4%**	**80.0%**	母子保健に関する実施状況等調査（H29）

Ⅳ-1　こころの健康づくり

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
1	ストレスを解消できている人の割合	成人	62.6%	70.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
		中・高校生	54.7%	70.0%	市民意識調査（H29・中高校生）
2	睡眠による休養が十分とれていない人の割合		18.0%	15.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
3	気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合		11.2%	減少	市民健康意識調査（H29・一般市民）
4	一生のうちにうつ病になる頻度を知っている人の割合		59.2%	70.0%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
5	〔再掲〕夜10時までに就寝する幼児・小学生の割合 （Ⅱ-2　健康管理　2）	幼児	97.5%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生	90.4%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
6	父親や母親と「よく話したりあそんだりしている」小学生の割合	小学生　男子 父親	61.7%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生　男子 母親	89.3%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生　女子 父親	65.8%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
		小学生　女子 母親	92.1%	増加	市民健康意識調査（H29・幼児小学生）
7	「あまり家族と話さない・話す機会がない」という中・高校生の割合	中学生　男子	12.7%	減少	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		中学生　女子	12.5%	減少	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		高校生　男子	17.9%	減少	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		高校生　女子	8.8%	減少	市民健康意識調査（H29・中高校生）
8	学校や家庭を楽しいと感じる中・高校生の割合	中学生 家族と過ごすのが楽しい	85.7%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		中学生 学校に楽しく通っている	66.4%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		高校生 家族と過ごすのが楽しい	82.6%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）
		高校生 学校に楽しく通っている	56.3%	増加	市民健康意識調査（H29・中高校生）

Ⅳ-2　自殺予防のための地域づくり

No.	目標項目		現状値（H29年度）	目標値（H34年度）	データソース
新1	**自殺予防週間や自殺対策強化月間について市民の3人に2人以上が聞いたことがあるようにする**		**30.8%**	**50.8%**	**市民健康意識調査（H29・一般市民）**
新2	**ゲートキーパーについて市民の3人に1人以上が聞いたことがあるようにする**		**18.5%**	**28.5%**	**市民健康意識調査（H29・一般市民）**
新3	**悩みを抱える人が24時間365日の無料電話相談（よりそいホットライン）等について市民の3人に2人以上が聞いたことがあるようにする**		**58.6%**	**63.6%**	**市民健康意識調査（H29・一般市民）**
新4	**様々な職種を対象としたゲートキーパー研修の実施**		**年1回**	**年1回以上**	
新5	**〔再掲〕 社会参加している高齢者の割合 （Ⅲ-3　身体活動・運動　6）**	**男性**	**60.4%**	**80.0%**	**市民健康意識調査（H29・一般市民）**
		女性	**61.8%**	**80.0%**	**市民健康意識調査（H29・一般市民）**
6	自殺者の減少（人口10万人当たり）		15.61人	13.01人	厚生労働省：地域における自殺の基礎資料

Ⅳ-3　生きるにつながる支援体制の充実の現状と目標

No.	目標項目	現状値 (H29年度)	目標値 (H34年度)	データソース
新1	〔再掲〕 自殺者の減少（人口10万人当たり） （Ⅳ-2　自殺予防のための地域づくり　6）	15.61人	13.27人	厚生労働省：地域における自殺の基礎資料
新2	〔再掲〕 気分障害・不安障害に相当する心理的苦痛を感じている人の割合 （Ⅳ-1　こころの健康づくり　3）	11.2%	9.4%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
新3	〔再掲〕 悩みを抱える人が24時間365日の無料電話相談（よりそいホットライン）等について市民の3人に2人以上が聞いたことがあるようにする （Ⅳ-2　自殺予防のための地域づくり　新3）	58.6%	63.6%	市民健康意識調査（H29・一般市民）
新4	〔再掲〕 新生児訪問・こんにちは赤ちゃん訪問を受けた人の割合 （Ⅱ-1　妊娠・出産・周産期　3）	93.5%	94.0%	H29年度事業実績

7. 関係課・関係機関一覧

関係課・関係機関		第Ⅱ章 健やかな親子づくりの取り組み				第Ⅲ章 健康寿命の延伸・健康格差の縮小						第Ⅳ章 いのち支える佐倉市自殺対策計画		
		1 妊娠・出産・周産期	2 健康管理	3 育児	4 思春期	1 生活習慣病	2 栄養・食生活	3 身体活動・運動	4 飲酒	5 喫煙	6 歯と口腔	1 こころの健康づくり	2 自殺予防	3 支援体制の充実
総務部	人事課												○	
税務部	収税課													○
市民部	市民課													○
	自治人権推進課	○		○	○								○	○
	健康保険課					○					○			○
福祉部	社会福祉課				○								○	○
	高齢者福祉課						○	○			○	○	○	○
	障害福祉課										○		○	
健康こども部	子育て支援課	○	○	○			○	○		○	○		○	○
	児童青少年課			○	○					○			○	○
	生涯スポーツ課							○				○		
産業振興	農政課						○							
	産業振興課											○		○
環境部	生活環境課									○		○		
土木部	道路維持課							○						
	道路建設課							○						
都市部	都市計画課							○				○		
	公園緑地課		○					○				○		
資産管理経営室										○				
教育委員会	教育総務課									○				
	学務課				○									○
	指導課		○	○	○		○		○	○	○	○		○
	教育センター													○
	社会教育課	○	○	○	○		○	○				○		
	公民館	○		○			○	○				○		
	図書館						○					○	○	
社会福祉協議会												○	○	○